

ディボーション質問表



待降節（アドベント）・・・アドベントとは到来という意味で、キリストの初臨と再臨の両方に使われます。すなわち、この世の救いのために人となって来られた主イエス・キリストの来臨を待ち臨む待降の時と、歴史の審判者としてやがて来られる再臨のキリストを待望する時の両方を表している言葉です。

28日（月）イザヤ書 9：1～7 「預言と成就」

1. この預言はイエス様降誕の約 740 年も前に与えられたものです。1 節に出てくる地名を地図で確認してみましょう。この預言を最初に与えられた人々はどのような人々だったでしょう。なぜ天の父はこの約束を与え、実現してくださったのでしょうか？

（注：ゼブルンやナフタリが属している北イスラエルの地方は、アラムとの反アッシリヤ同盟が発覚した為、BC734～732 年にアッシリヤによって侵入されました。）

2. 2～5 節の内容は、捕囚からの解放を通してその一部が成就しました。しかし、究極的にはメシヤの初臨と再臨によって成就します。この預言が私たちにどのような希望をもたらしているのでしょうか？

3. 6～7 節にはメシヤとしてのイエス様が力強く表現されています。イエス様の性質を挙げて主を礼拝してみましょう。

29日（火）マタイの福音書 21：1～11 「見よ、王が来られる」

1. この場面は、イエス様が十字架に架かれる直前、ロバの子に乗りエルサレムに入場された時の事です。ここから、イエス様がどのような方であると分かるのでしょうか？ そのイエス様の姿を思い巡らしてみましょう。

2. 10 節には「この方は、どういう方なのか。」という人々の言葉が書かれています。当時の人々はどう理解していたでしょう。また、わたしたちはどう理解しているのでしょうか？

30日（水）ヨハネの福音書 7：1～9 「キリストの時」

1. イエス様がこの時、ユダヤを巡られたらどうなっていたでしょう。そうなることをイエス様はどうして避けられたのでしょうか？

2. 今はどのような時でしょう。私たちは今の時を意識して生活しているのでしょうか？ 意識して歩む為にどうしたらいいのでしょうか？

12月1日（木）ルカの福音書 12：35～48 「待ち望む者」

1. 今日から土曜日までの聖書箇所は、イエス様が再臨についての教えをしている箇所です。待降節の時期に再臨の箇所を読む事はどんな意味があるでしょう。その事も考えながら読んでみましょう。

2. 婚礼から帰って来る主人を待つしもべ達にどのような生活をしている事が期待されているのでしょうか？ あなたはどのような生き方をしたいと思いますか？ どうしたら、そのような生き方を続けていくことが出来ると思いますか？

2日（金）マタイの福音書 24：32～51 「その時は誰も知らない」

1. ノアの日（37 節）とはどのような日でしょうか？ 現代と比べて似ているところと違うところはどんなところでしょうか？

2. イエス様が再び来られるとき、誰が連れて行かれ、誰が残されますか（37～44 節）？ 鍵となる節は、31 節です。

3. 思いがけない時に帰って来られるイエス様を待つ為にはどのような心が必要でしょうか？

3日（土）マタイの福音書 25：1～13 「油断することなく」

1. 愚かな娘たちと賢い娘たちとはどこが違うのでしょうか。その違いをもたらしているのは何だと思いますか？

2. 私たちの花婿であられるイエス様が来られるのを待つときの正しい態度とは、どのようなものなのでしょうか（1～13 節）？